

平成 29 年北秋田市議会 6 月定例会行政報告

北秋田市議会 6 月定例会が開催されるにあたり、2 月 23 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

<総務課関係>

平成 29 年度職員採用試験は、大学卒業程度一般行政、建築士及び保育士について、5 月 24 日から 6 月 28 日まで受験申込みを受け付けし、第 1 次試験は 7 月 23 日に秋田市文化会館で実施します。高校卒業程度一般行政及び消防吏員の試験についても、順次行ってまいります。

6 月 2 日から草花を育てる活動を通して豊かな人権感覚を育むことを目的とする「人権の花運動」が行われ、小学校 9 校、中学校 3 校で実施しております。また、6 月 4 日の「第 33 回ふるさと踊りともちっこまつり」において、市長が一日人権擁護委員として委嘱され、地域住民への人権思想の普及高揚を図るため街頭啓発活動を行いました。

5 月 26 日、市役所と市民病院を会場に、大規模地震が発生した場合を想定した「県民防災の日」訓練が行われました。市役所では発災想定時刻に、それぞれの場所で、自らの身を守る行動を一斉に行うシェイクアウト訓練を実施したほか、災害対策初動機能の充実を図ることを目的として、災害時初動体制マニュアルによる班体制を編成し図上訓練を行い、災害対応における各班の役割について確認しました。また、市民病院では、災害拠点病院における速やかな初動体制について、病院と消防機関との連携のもと訓練を実施しました。

6 月 4 日、秋田県との共催により、大雨による土砂災害を想定した「土砂災害・全国統一防災訓練」が阿仁ふるさと文化センターを会場として行われました。周辺自治会、福祉施設、消防団、関係機関・団体から 100 名を超える参加者による避難誘導訓練が行われた後、土砂災害に関する DVD 映像等による防災講座が開催され、災害発生時の初動対応と土砂災害に対する知識を習得しました。

<総合政策課関係>

3月11日、都内渋谷区において「くらし×しごと交流会」が開催され、約50名の来場のもと本市からは2事業所が参加し、自社企業の紹介と各事業所への就業体験事業をPRし、移住先で仕事を探している方々と面談しました。また、翌12日には「まるごと秋田 Life Style 体感フェア」が開催され、約110名の来場のもと本市の子育て環境等をPRしたほか、出展ブースでは移住を希望している方々と面談し、いずれのイベントも今後の移住に向けたつながりを持つ機会となりました。

4月24日、平成29年度第1回北秋田市地域公共交通活性化協議会を開催し、地方交通関係者等へ委員の委嘱状を交付したほか、北秋田市地域公共交通網形成計画及び平成29年度の事業計画、昨年12月の運行を踏まえ新年度も半年間取り組むこととなった市内循環バスの実証運行などの案件が承認されました。

5月1日、本市へ2人目の地域おこし協力隊「北秋田市移住コーディネーター」として着任した米倉信人さん（米内沢出身）に対し、委嘱状の交付を行いました。米倉さんは、「これまで首都圏で培ったキャリアや人とのつながりを生かし、今後は市の移住・定住施策に力を注ぎ北秋田を盛り上げたい」と抱負を述べました。

5月13日、森吉山ダム四季美湖畔様田駐車場周辺において、秋田県信用組合と締結している地方創生包括連携協定に基づく植樹事業が行われ、秋田県信用組合の職員、地元の四季美湖を守る会の会員、市の職員など約200名参加のもと、ヤマモミジ、カツラなど290本の苗木を植樹しました。

5月18日、平成29年度大館能代空港利用促進協議会総会が開催され、前年度事業報告及び決算報告、平成29年度事業計画及び予算案など全議案が承認されました。

5月27日、都内中央区において、本市・鹿角市・大館市・能代市の県北4市合同による「来てみねが一！！あきたの北のほう移住フェア 4市一緒に移住フェア」を開催しました。フェアでは、各市の先輩移住者のトークセッションによる県北地域での暮らしの紹介とPR、個別相談会等を実施し、昨年度に引き続き広域連携による取り組みが図られたほか、あきたの北のほうを印象づけるイベントとなりました。

5月28日、都内台東区において東京圏あに会の第31回総会・懇親会が開催され、200名を超える参加者のもと、31年目の新たな歩みとともに今後の更なる飛躍を誓い合いました。

5月29日、県北秋田地域振興局と北秋田市による意見交換会が開催され、県及び市双方の本年度事業計画等について意見を交わし、北秋田地域の発展に向けて連携していくことを確認しました。

<内陸線再生支援室関係>

秋田内陸縦貫鉄道の平成28年度の収支見通しは、経営損失額2億円以内とする目標を達成する状況となっております。

通勤、通学を含めた全体の平成28年度の乗車人数については、計画した利用客数を確保できず、減少したものの、台湾を中心とした外国人観光客が増加しており、外国人団体客については、前年度と比較して79%増の15,526人が乗車しております。

今年で6回目となる「秋田内陸線のりものまつり」が、5月20日、21日の2日間、阿仁合駅周辺を会場に開催され、好天にも恵まれ、お子様連れの市内外のご家族など、両日で約3,500人の来場者を数え、盛会裏に終了いたしました。

財務部

<財政課関係>

平成29年2月1日から平成29年4月30日までの工事等発注状況（500万円以上）は、下記のとおりとなっております。

工事等発注一覧表			
※500万円以上（消費税含む）		平成29年2月1日～平成29年4月30日	
工事名または業務名等	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
光ファイバ通信網設備保守委託	H29. 4. 1	6,945	東日本電信電話(株)ビジネス&オフィス営業推進本部 秋田法人営業部
住民情報系システム運用保守委託	H29. 4. 1	15,844	(株)アイシーエス秋田支店
内部情報系ハード・ソフト保守委託	H29. 4. 1	5,467	(株)アイシーエス秋田支店
内部情報系システム使用料	H29. 4. 1	8,630	(株)アイシーエス秋田支店
旧中央公民館耐震補強・改修工事設計委託	H29. 4. 27	5,206	(有)奈良田建築設計事務所
財務部 5件		42,092	
北秋田市クリーンリサイクルセンターエネルギー回収推進施設建設工事技術支援業務	H29. 4. 5	7,128	公益社団法人全国都市清掃会議
北秋田市し尿処理施設建設に係る地質調査業務委託	H29. 4. 27	9,720	奥山ボーリング(株)北秋田営業所
資源ごみ等引取・処理委託（29.6月～30.3月）	H29. 4. 27	9,609	(株)青南商事

浸出水処理施設設計委託	H29. 4. 27	8,208	(株) 日水コン秋田事務所
市民生活部 4件		34,665	
子育てサポートハウス管理運営業務	H29. 4. 1	15,505	社会福祉法人北秋田市社会福祉協議会
北秋田市立児童館管理運営業務	H29. 4. 1	25,692	社会福祉法人北秋田市社会福祉協議会
北秋田市地域子育て支援センター業務委託	H29. 4. 1	8,000	社会福祉法人鷹巣地の塩会
北秋田市地域子育て支援センター業務委託	H29. 4. 1	8,000	社会福祉法人県北報公会
生活困窮者家計相談支援事業	H29. 4. 1	5,000	社会福祉法人北秋田市社会福祉協議会
生活困窮者自立相談支援事業	H29. 4. 1	9,000	社会福祉法人北秋田市社会福祉協議会
健康福祉部 6件		71,197	
林道施設災害復旧工事(雨降沢線)	H29. 3. 9	6,923	(有) 工藤設備工業所
産業部 1件		6,923	
森吉・合川地区統合簡易水道施設整備事業前田送水ポンプ場他建設工事	H29. 2. 9	135,648	秋田土建(株)
森吉・合川地区統合簡易水道施設整備事業神成送水ポンプ場他建設工事	H29. 2. 9	130,680	秋田土建(株)
道路維持工事(2級市道 小様三枚線)	H29. 3. 28	5,972	山一林業(株)
舗装維持工事(1級市道 米内沢駅前通線)	H29. 3. 28	7,560	秋田土建(株)
道路維持工事(1級市道 ブナ森線)	H29. 3. 28	6,458	(有) 阿仁土建
道路改良工事(その他市道 小学校～小中岱線)	H29. 3. 28	7,992	(株) 大川建設
秋田内陸縦貫鉄道小湊・阿仁合間鉄道交差橋補修工事	H29. 3. 31	17,350	秋田内陸縦貫鉄道(株)
舗装維持工事(1級市道 川井大野線)	H29. 3. 31	5,076	(有) 宗和
排水維持工事(その他市道 李岱鍛町線ほか2路線)	H29. 3. 31	8,478	(有) 宗和

阿仁地区水道施設維持管理業務委託	H29. 4. 1	5,530	(有) ヤマグチ
阿仁地区小型合併浄化槽維持管理業務委託	H29. 4. 1	15,772	(有) 鷹阿二清掃興業
平成 29 年度 防災・安全交付金 北秋田市 道路橋 (J R 跨線橋) 定期点検業務委託	H29. 4. 7	13,928	市町村橋梁等長寿命化連絡協議会
合川地区農業集落排水処理施設維持管理業務委託 (Ⅲ型)	H29. 4. 18	6,728	(有) 宗和
合川地区農業集落排水処理施設維持管理業務委託 (Ⅰ型)	H29. 4. 18	5,724	(有) 宗和
森吉地区農業集落排水処理施設維持管理業務委託	H29. 4. 18	5,310	(株) 二幸協同黄金社
浄化センター維持管理業務委託 (4 月分)	H29. 4. 1	5,206	山岡工業 (株)
浄化センター維持管理業務委託 (29. 5 月～30. 3 月分)	H29. 4. 18	71,280	山岡工業 (株)
建設部 17 件		454,692	
消防本部消防救急デジタル無線設備保守業務	H29. 4. 1	9,990	(株) 富士通ゼネラル 東北情報通信ネットワーク営業部
消防本部高機能指令センター設備保守業務	H29. 4. 1	6,934	(株) 富士通ゼネラル 東北情報通信ネットワーク営業部
消防本部 2 件		16,924	
鷹巣小学校放課後児童クラブ棟外構工事	H29. 2. 9	5,400	(株) 芳賀工務店
北秋田市放課後児童クラブ管理業務	H29. 4. 1	41,109	社会福祉法人北秋田市社会福祉協議会
教育委員会 2 件		46,509	
合計 37 件		673,002	

北秋田市における公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うため、「北秋田市公共施設等総合管理計画」を策定しました。今後は、主要な公共建築物の施設ごとの保有の方向性等を示した適正化方針に基づき個別計画を策定し、具体的な取り組みを展開してまいります。

平成 28 年度をもって契約期間が終了した北秋田市電算システムについては、新システムへの移行等の手続きを円滑に終え、運用を開始しております。

平成 29 年度の地籍調査事業については、宮前町及び東横町の 2 地区を対象地区として実施します。実施に向けた対象地区住民への説明会を 5 月 25 日から 27 日の 3 日間開催しております。

<税務課関係>

平成 29 年度の軽自動車税と純固定資産税の当初調定額及び 4 月末現在の平成 28 年度分の市税等の収納状況については、次のとおりとなっております。

また、収納対策として、日中相談に来られない方のための夜間納税相談窓口を 5 月 23 日と 25 日に開設しました。

区 分	調 定 額		
	平成 29 年度現年課税分	平成 28 年度現年課税分	前年比
軽自動車税	90,830,300 円	88,423,500 円	102.72%
純固定資産税	1,524,892,800 円	1,528,256,600 円	99.78%

区 分	課税台数と納税義務者数		
	平成 29 年度現年課税分	平成 28 年度現年課税分	対前年
軽自動車税	16,173 台	16,389 台	△ 216 台
純固定資産税	16,262 人	16,343 人	△ 81 人

平成 28 年度分の収納状況（4 月末現在）

税 目		調 定 額 (円)	収入済額 (円)	収納率 (%)	前年同 (%)
個人市民税	現	956,470,500	948,176,076	99.13	98.80
	滞	47,327,998	11,730,978	24.79	19.72
法人市民税	現	168,520,100	167,326,000	99.29	99.20
	滞	5,740,000	861,100	15.00	11.16
純固定資産税	現	1,495,113,400	1,463,396,464	97.88	97.35
	滞	140,925,741	25,612,371	18.17	18.42
交 付 金		74,305,500	74,305,500	100.00	100.00
軽自動車税	現	87,407,300	85,424,200	97.73	98.09
	滞	4,366,767	1,077,388	24.67	25.38
市たばこ税		223,363,875	223,363,875	100.00	100.00
入 湯 税		3,126,450	3,126,450	100.00	100.00
国民健康保険税	現	508,328,400	477,675,701	93.97	93.54
	滞	139,566,778	24,203,200	17.34	16.05
合 計		3,854,562,809	3,506,279,303	90.96	89.85

市民生活部

<生活課関係>

北秋田市廃棄物不法投棄監視員について、4月24日に委嘱状の交付式を開催し、監視員24名への委嘱状交付と、平成29年度の活動について確認しました。

春のクリーンアップについては、4月16日に市内全域（阿仁地区は23日実施）で実施され、約5,500人の市民が参加しました。

クリーンリサイクルセンターへのごみの搬入については、平成28年度の総数量が11,544トンで、1人一日当たりでは886g、前年度比で3.72%の減少となっております。内訳は、可燃物が9,830トンで前年度比2.83%の減少、不燃物が461トンで前年比11.74%の減少、リサイクル品7品目が1,253トンで前年度比7.28%の減少、古紙類が702トンで前年度比8.38%の減少となっております。

交通指導員及び防犯指導員については、委嘱状交付式を4月5日に開催し、交通指導員38名、防犯指導員35名に委嘱状を交付しました。

春の全国交通安全運動が、4月6日から15日までの10日間実施されました。運動初日には、北欧の杜公園において、参加者約200名の北秋田地区総決起集会被催され、交通事故防止に全力で取り組むことを宣言いたしました。

消費者行政については、消費者からの相談や消費者トラブル未然防止等の取り組みを消費生活センターで行っております。また、5月17日には、消費者庁の定めによる消費者月間（5月）に合わせ、鷹巣地区の大型ショッピングセンター2店舗前において、年々複雑かつ巧妙な手口となってきた特殊詐欺等の被害に遭わないよう啓発を行うとともに、消費生活センター相談窓口の周知を図るための街頭キャンペーンを実施しました。

山岳遭難の発生防止については、5月9日に北秋田市山岳遭難対策会議を開催し、各種関係団体による発生防止策や事故発生時の対応について協議しました。また、5月20日早朝には、森吉山ダム広報館前において、入山者に対する遭難防止啓発活動を実施しました。

<市民課関係>

平成29年4月末現在の住民登録者数は33,203人（内外国人155人）で、その内訳は、男15,527人（同13人）、女17,676人（同142人）、世帯数は14,208世帯（内外国人を含む世帯150世帯）となっております。個人番号カードについては、4月30日現在で交付（作成）申請枚数が2,770枚、人口に占める割合は8.3%となっております。地方公共団体情報システム機構（J-LIS）から市に順次送付されており、4月30日現在の交付枚数は2,228枚となっております。また、通知カードについては、受け渡しできずに市が保管している件数は、4月30日現在で124件となっております。

国民健康保険については、平成 29 年 4 月末現在の加入世帯数は 5,170 世帯で、被保険者数は 7,824 人（内一般被保険者数 7,493 人、退職被保険者数 331 人）で、その内、前期高齢者は、4,132 人となっております。

後期高齢者医療制度の、平成 29 年 4 月末現在の被保険者数は 7,975 人で、その内、若年障害者認定数は 206 人となっております。

健康福祉部

<福祉課関係>

平成 29 年度の保育所入所は、4 月 1 日現在、公立保育園 284 名、私立保育園 516 名の合計 800 名となっております。

「ひとり親家庭就学祝金」については、小学校及び中学校への入学時の経済支援として、本年度は小学生 24 人、中学生 30 人の児童生徒に交付しました。

消費税引き上げに伴う所得の少ない方への影響緩和のための一時金である「臨時福祉給付金」については、5 月 19 日に対象者 9,042 人に通知及び申請書を送付しました。

<高齢福祉課関係>

高齢者在宅福祉サービスの平成 28 年度実績は、高齢者障害者等外出支援サービス登録者数が 226 人（前年度 296 人）で、延べ利用回数は 2,549 回となっております。食の自立支援については、登録者数が 250 人（前年度 257 人）で、延べ 40,264 食を提供し、また、家族介護慰労金支給については、94 人（前年度 189 人）の方へ慰労金を支給し、在宅での介護を支援しております。福祉の雪事業については、登録世帯数は 922 世帯（前年度 912 世帯）、延べ利用回数は 8,255 回（前年度 6,463 回）、利用世帯への扶助費は 10,819 千円（前年度 5,515 千円）となっております。

ねりんピック秋田 2017 については、5 月 8 日に北秋田市実行委員会第 2 回総会が開催され、昨年度の事業報告や今年度の事業計画などが話し合われました。9 月 10 日から 11 日に本市で開催される健康マージャン交流大会の成功に向け、関係機関と連携しながら準備を進めてまいります。

介護保険については、4 月末現在要支援・要介護認定者数が 2,829 人（前年度 2,841 人）となっており、その内サービス受給者が 2,419 人（前年度 2,475 人）で、認定者数に対する受給率は 85.51%（前年度 87.12%）、昨年同期と比較すると認定者数は 12 人減少（昨年度 13 人減少）、サービス受給者は 56 人減少（昨年度 98 人増）となっております。

認知症グループホーム家賃等助成事業については、4 月 1 日より実施し、認知症グループホームへの入所が必要な低所得者に家賃等を助成し、経済的負担の軽減を図ることとしました。

地域包括支援センターの平成 28 年度の包括的支援事業における総合相談件数は、延べ 1,164 件（来所 179 件、電話 701 件、訪問 284 件）となっており、その内、権利擁護に関する相談は 101 件となっております。

地域支援事業における介護予防事業については、65 歳以上の方を対象とした一般介護予防事業への延べ参加者数は、運動教室 1,348 人、栄養教室 65 人、出前介護予防教室 201 人、訪問型運動指導は 33 人、地域介護予防事業は 131 人となっており、今後も積極的に介護予防事業に取り組んでまいります。

<医療健康課関係>

保健事業全般の普及啓発として「健康ガイド」保存版を市広報 4 月号と共に全戸配布しております。また、平成 28 年度に「第 2 期けんこう北秋田 21 計画」策定し、関係機関に配布しております。今年度から新たに計画実現に向け市民と共に取り組んでまいります。

成人健（検）診事業については、各地域巡回型の集団検診が 4 月 14 日から始まり、森吉・合川・阿仁地区が終了し、鷹巣地区は 7 月 1 日までの予定で実施しております。ホリデー健（検）診として各地区休日の健（検）診日を設け実施しております。より若い世代から健康に関心を持っていただくよう、20 歳から 39 歳までの方を対象に「さわやか健診」を実施しております。また、40・50・60 歳の節目年齢の方には特定健診の検査項目に心電図・眼底・貧血検査を追加して実施しております。

胃がん検診については、4 月 22 日より実施しており、森吉・合川・阿仁地区が終了し、鷹巣地区は 7 月 1 日までの予定で実施しております。胃がん検診・大腸がん検診の全額助成対象者に無料クーポン券に代わる案内を受診票と一緒に配布しております。

女性の検診（子宮頸がん・婦人科超音波検診、乳がん、骨粗しょう症検診）については、4 月 20 日から始まり、森吉地区が終了し、合川・阿仁・鷹巣地区は 9 月 26 日までの予定で実施しております。

運動教室として 60 歳以上の方を対象にロコモティブシンドローム予防のため「のびのび運動教室」を月 1 回 6 会場で実施しております。現在、鷹巣地区 88 人、合川地区 53 人、森吉地区 66 人、阿仁地区 49 人の方が登録しています。

母子保健事業については、毎週月曜日に母子健康手帳を交付しており、4 月から 5 月末現在で 29 件交付しております。乳幼児健診・育児サークルを毎月実施し、子育て支援に努めております。

北秋田市地域医療連携センター事業については、北秋田市医療講演会を 3 月 18 日に北秋田市文化会館で開催しました。講師は、市民病院で手術支援・手術指導にあたっていただいている大腸がんの腹腔鏡手術の名医といわれる平塚市民病院消化器外科部長の山本聖一郎医師で、「地域連携を目指した外科治療」と題して講演をしていただき、市民、医療介護関係者約 600 人の方が最新のがん診療や地域ケアを念頭に置いた外科診療について熱心に聴講しました。

また、3月24日、5月22日には運営協議会全体会を開催し、事業の実施状況の報告、今後の事業計画について話し合われました。会議では、引き続き地域包括ケアシステム構築を目的に、医療と介護の連携強化を目指し、「医療・介護資源ガイドブック」の内容更新、ホームページでの情報掲載、地域の医療・在宅ケアの充実のため、全体会や研修会、ワークショップ等を実施し課題への共通認識づくり、多職種連携による問題解決を図っていくことを確認しました。

北秋田市民病院については、国（総務省）が示している「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、平成29年3月31日付で「北秋田市新公立病院改革プラン」を策定いたしました。改革プランでは、高齢化の進展や患者数の減少といった中でも、北秋田市の唯一の二次医療機関として、現在行っている地域医療体制を堅持し、どのように将来の医療提供体制を構築していくのかについて、目指すべき姿について策定しております。

第1回北秋田市民病院運営連絡協議会については、5月31日に開催され、市民からの要望等への対応や指定管理内容の改善に伴う検討事項の協議のほか、今後の取り組み方針等の報告がされております。今後も厚生連との連携を強化し、諸課題に対応することを確認しております。

<診療所関係>

2月から4月までの市立3診療所の外来患者数については、阿仁診療所では、内科2,124人で前年同期対比232人(9.9%)の減、外科2,357人で前年同期対比415人(15.0%)の減、歯科899人で前年同期対比8人(0.9%)の減となっております。次に、合川診療所では2,365人で、前年同期対比469人(16.6%)の減となっております。次に、米内沢診療所では、内科3,533人で前年同期対比365人(9.4%)の減、小児科460人で前年同期対比57人(14.1%)の増、整形外科811人で前年同期対比83人(9.3%)の減、脳血管外科249人で前年同期対比0人(0%)の増減なし、心臓血管外科36人で前年同期対比3人(7.7%)の減となっております。今後も、地域住民の医療と健康を守るため安定した診療所運営を心がけてまいります。

産業部

<農林課関係>

稲作については、春作業が平年並みとなり、田植え作業についても、平年並みで最盛期となりました。今後はJAを始めとする農業指導関係機関との連携を密にして、水管理等の適正指導を啓発してまいります。

園芸メガ団地整備事業等については、2地区とも事業に着手され、順調に推移しており、5月24日には洗浄選別施設建設工事の安全祈願が執り行われました。

今年の牧場運営については、5月1日に46頭が鷹巣牧場に入牧し、夏山冬里方式による低コストで健康な肉用牛の生産に向け、安全で安心できる肉用牛生産に貢献できるよう努めるとともに、農家の生産活動の維持促進を図り経営の安定に努めてまいります。

土地改良事業関係については、県営のほ場整備事業が6地区、用排水施設整備事業が3地区で事業実施されております。

林道施設災害復旧事業については、繰越工事雨降沢線1件二箇所の工事を完成に向けて進めてまいります。また、融雪による林道への土砂崩落及び倒木については、地域の協力を得ながら通行の確保に努めてまいります。

「大館市・北秋田市・上小阿仁村」の2市1村で林野庁よりモデル地区として選定された「林業成長産業化地域創出モデル事業」は、「素材生産者・製材、加工事業者・木材需要者・森林育成事業者・学識経験者等」からなる参画者協議会の設立に向けて、準備を進めてまいります。

<商工観光課関係>

特産品事業については、4月28日、森吉山麓村興し会主催による『第6回BM（バター餅）ー1グランプリ』がクウインス森吉で開催され、市内の11の団体・個人から個性あふれる20種類のバター餅が出品されました。

5月17日には、秋田大学において地域交流朝市が開催され、秋田大学と関連がある県内7市町村が参加し、地域の特産品販売を通して交流を深めました。

マタギの里熊牧場（くまくま園）のオープニングセレモニーを4月29日に開催しました。ゴールデンウィークにむけたテレビCMの効果があり、5月3日から5月5日までの3日間で3,630人（昨年1,913人）が来場し、誕生したばかりの子熊とのふれあいや、ひぐまのえさ隠しなどを楽しみました。また、昨年からはゴールデンウィーク3日間限定で開催している遊遊ガーデンの釣り体験に315人（昨年148人）が参加するなど盛況で、家族で釣りを楽しむ姿が見られました。

5月3日には、「森吉山山開き」が開催され、絶好の登山日和の中、事前申込者と当日参加の約70名の方が森吉神社まで登山し、今年1年の安全を祈願しました。

5月9日から10日にかけて、秋田県北部の魅力を発信するため、地域連携DMO（観光地域づくり法人）一般社団法人「秋田犬ツーリズム」と外務省主催による「駐日各国外交団秋田県北部ツアー」が開催され、17か国23名の外交官らが北秋田市、大館市、小坂町の観光施設や金属リサイクル企業などを視察しました。当市では伊勢堂岱遺跡、大太鼓の館を視察され、大太鼓の実演等を体験し、高い評価を頂きました。

建設部

<都市計画課関係>

南鷹巣団地建替事業について、国の平成28年度第2次補正予算の成立に伴う社会資本整備総合交付金の追加決定により実施していた第2次建設工事（木造平屋2戸建2棟、木造平屋3戸建1棟：計7戸）は、予定どおり5月末に完成しました。引き続き7月の本格入居に向けて移転準備を進めております。

<建設課関係>

平成29年2月1日から平成29年4月30日までの道路関係工事発注及び完成状況は、下記のとおりとなっております。

工事等発注一覧表	
平成29年2月1日～平成29年4月30日	
工事名または業務名等	
排水維持工事（その他市道 李岱鍛町線）	排水維持工事（1級市道 大町七曲線）
排水維持工事（その他市道 高村岱5号線）	
排水維持工事 3件	
舗装維持工事（1級市道 脇神舟場線）	舗装維持工事（1級市道 川井大野線）
舗装維持工事（1級市道 米内沢駅前通線）	
舗装維持工事 3件	
道路維持工事（2級市道 小様三枚線）	道路維持工事（1級市道 ブナ森線）
道路維持工事 2件	
道路改良工事（その他市道 小学校～小中岱線）	
道路改良工事 1件	
秋田内陸縦貫鉄道小淵・阿仁合間鉄道交差橋補修工事	
社会資本整備交付金事業 1件	
道路災害復旧工事（その他市道 大内沢線）	
公共土木施設災害復旧費 1件	

工事等完成一覧表	
平成 29 年 2 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日	
工事名または業務名等	
排水維持工事（その他市道 中屋敷 1 号線）	
排水維持工事 1 件	
交通安全施設工事（2 級市道 東川向線）	
交通安全施設工事 1 件	
道路維持工事（その他市道 元 7 号糠沢線）	道路維持工事（その他市道 田子ヶ沢～岩谷線）
道路維持工事（その他市道 前野中央北線）	
道路維持工事 3 件	
歩行空間整備工事（1 級市道 米代町線）	歩行空間整備工事（1 級市道 米代町線） 2 工区
道路改良工事 2 件	
河川維持工事（準用河川 曲川）	
河川維持工事 1 件	
橋梁補修工事（前山橋）	橋梁補修工事（大舟木橋）
社会資本整備交付金事業 2 件	
道路災害復旧工事（1 級市道 摩当沢線）	
公共土木施設災害復旧費 1 件	

冬期間、通行止めとしていた大印ノロ川線は、5 月 11 日に通行止めを解除しております。

<上下水道課関係>

上水道事業については、新鷹巣浄水場取水井築造工事と基礎調査及び経営変更認可設計委託業務が完成しております。

簡易水道事業については、東地区第 1 取水場 1 号取水ポンプ取替工事が完成しております。

森吉・合川地区統合簡易水道施設整備事業については、米内沢浄水場機械電気設備工事、長野沢基点配水場建設工事、大野岱配水場改良工事が完成し、今後赤坂配水場改良工事等、残工事の発注により事業の年内完成を目指します。

また、企業会計移行支援委託業務が完成し、森吉・合川地区については平成 30 年度より企業会計として運営してまいります。

公共下水道事業については、鷹巣処理区の脇神字高村岱の一部 0.5ha が 3 月 24 日に、脇神字堂ヶ岱の一部、堂ヶ岱屋敷廻の一部、白砂坂の一部、高村岱の一部、赤川岱の一部、鷹巣字平崎上岱の一部 7.2ha が 4 月 1 日に、鷹巣字東上綱の一部、西上綱の一部、東中岱の一部、西中岱の一部、細田の一部 5.9ha が 5 月 1 日にそれぞれ供用開始となりました。

鷹巣処理区の供用区域面積は、370.8ha になります。

工事等については、鷹巣処理区において脇神字高村岱、鷹巣字東上綱及び西上綱地内で面整備工事3件、公共下水道効率的事業計画策定及び鷹巣浄化センター耐震診断調査の業務委託2件が完成しております。

消防本部

<常備消防関係>

平成29年2月3日から平成29年5月24日までの火災は、建物火災が1件、その他火災（休耕田、原野）が2件発生しております。林野（原野等含む）火災が多発する時期を迎えるにあたり、その予防対策として防火巡回を強化し、現在も継続して警戒にあたっております。

春の火災予防運動が4月2日から8日まで行われ、住宅用火災警報器の設置促進及び設置以後の維持管理の広報を期間中の重点事項として戸別訪問を行いました。

また、阿仁診療所内では阿仁地区保育園児による防火塗り絵の展示を行い、防火意識の高揚、火災予防思想の普及を図っております。

救急出場件数は465件で、種別では急病331件、一般負傷48件、交通事故25件、となっております。ドクターヘリは16件の出場要請をしており、16人の傷病者を搬送しております。救助出場は18件で3名を救出しております。

また、管内における捜索救助出場はこれまで2件発生しており、死亡発見1名、行方不明者1名となっております。

訓練については、5月17日合川中学校陸上競技場において、当消防本部救助隊と秋田県消防防災航空隊とが合同で、要救助者引継訓練など、安全かつ迅速な連携体制の確立を目的とした合同訓練を実施しております。

職員研修については、救急救命士養成のため昨年度救急救命東京中央研修所（八王子市）で2名が6か月間の研修を修了し国家試験に合格しております。

また、高度な教育研修のため、消防大学校（東京都調布市）救助科に1名が入校、秋田県消防学校初任科には3名が入校し、消防士としての基礎知識、技術の習得のため研修中であります。

<非常備消防関係>

春の火災予防運動期間中、初日の4月2日に市内4か所で一斉放水訓練を実施しております。終了後は各地区で火災予防のチラシを配布して、火災予防の意識高揚に努めております。

5月28日には、北秋田市消防団第4分団員20名が、平成29年度雄物川総合水防演習東北水防技術競技大会に秋田県代表として出場し、シート張工法・月の輪工法を実施しております。

教育委員会

<総務課関係>

「あきたリフレッシュ学園」については、4月10日に平成29年度入園式を行い、5月25日現在の学園生は9名となっております。不登校の児童生徒が学習活動、体験活動などを通じて前向きな気持ちになり、1日も早く登校出来るよう見守ってまいります。

「教育留学推進事業」については、現在1名を受け入れております。6月5日から6月30日までの期間で新たに1名を受け入れ、合川小学校へ通学する予定になっております。

小・中学校の整備については、鷹巣南小学校プール塗装工事ほか5件(契約額100万円以上)の維持補修工事を発注し、老朽化した学校の施設・設備への対応に努めております。

新教育長の就任に伴い、第3回臨時教育委員会を5月1日に開催し、教育長職務代理者の指名を行っております。5月24日には第1回総合教育会議を開催し、平成29年度主な教育施策等について協議、意見交換を行っております。

<学校教育課関係>

平成29年度の小・中学校入学式が4月7日に行われ、小学校193名、中学校221名の児童・生徒が新たな学校の門をくぐりました。5月1日現在の児童生徒数は、小学校1,200名(10校)、中学校640名(5校)で、学級数は小学校が75、中学校が33となっております。

市内小・中学校に関する調査研究と教職員の研修を推進する北秋田市教育センターの所員総会が4月28日に行われ、新たな顔ぶれにより今年度の活動がスタートしました。

各小・中学校の運動会・体育大会は4月30日を皮切りに行われ、家族や地域の方々の声援を受けながら、元気いっぱいに躍動する子どもたちの姿が見られました。

4月18日には、全国学力・学習状況調査が行われ、小学校6年生と中学校3年生が日頃の学習の成果を試す問題に挑みました。

<生涯学習課関係>

「学びを通じた 協働による 地域づくり」を基本理念に、「第3次北秋田市社会教育中期計画」を策定しました。計画期間は平成29年度～33年度の5か年間とし、行政が市民の生涯学習を支援するという従来の立場から脱却し、「住民と一体となった『協働』」の姿勢を明示したものとなっております。

高齢者大学については、高鷹大学210人、合川ことぶき大学70人、森吉大学84人、阿仁活き生き大学53人、合計417人の受講生が入学・開講式を終え、高齢者の生きがいがいづくりが始まりました。

定期講座については、市民ふれあいプラザ6講座、合川公民館5講座、森吉公民館4講座、阿仁公民館5講座、鷹巣6地区の公民館講座12講座、前田公民館1講座、大阿仁公民館2講座、合計35の定期講座を開設し、市民が交流しながら学びあえる機会を提供しております。

5月15日、地域で家庭教育を応援し、家庭と地域や学校をつなぐ事業として新規に「北秋田市家庭教育支援チーム推進事業」を実施するため、チーム員へ委嘱状を交付しました。

放課後児童クラブ事業については、共働き世帯などの児童の健全育成、子育てと仕事の両立支援のため、放課後子ども教室と連携を図りながら、市内10箇所で約600人の学童保育を実施しております。

伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業については、第7回目となる「カムバック・縄文サーモン」が、4月15日に伊勢堂岱遺跡下の湯車川で行われ、ジュニアボランティアガイドをはじめ、地元の方やワーキンググループ等約30人が参加し、サケの稚魚約3万匹を放流しました。

また、5月7日に今年度の伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド41名に委嘱状を交付しました。7月28日から4日間の研修会の後、8月5日のガイド実習を経てジュニアボランティアガイドの活動が始まります。

4月30日に国指定史跡伊勢堂岱遺跡のガイドダンス施設、伊勢堂岱縄文館と市民ふれあいプラザ・コムコムの開館一周年記念事業がコムコムで行われました。記念事業では、縄文館で上映している映像を監修された國學院大學名誉教授の小林達雄氏と映像ナレーションを担当された元NHKエグゼクティブアナウンサーの加賀美幸子氏による記念対談、映像に出演された「桜月流美剣道」による演舞が行われ、参加者約350人が縄文の世界観・縄文文化を堪能しました。4月29日までの来館者は、コムコムは25万5,618人、縄文館は1万650人でした。

市の指定文化財である七日市長岐邸の一般公開を5月3日から5日にかけて行われ、約160人が訪れました。

<スポーツ振興課>

3月28日、チャレンジデー2017実行委員会を開催しました。5回目の参加で3年連続の金メダル獲得に向け、目標参加率を60%とし取り組むこととしました。5月22日にはチャレンジデー2017の対戦相手茨城県行方市の鈴木市長と津谷市長がエール交換を行い、それぞれの意気込みを語り合いました。

4月17日、市民ふれあいプラザにおいて35人のスポーツ推進委員（任期は平成29年度～平成30年度の2年間）に委嘱状を交付しました。

陸上競技シーズンの幕開けを告げる、第55回河田杯マラソン・大館北秋田ロードレース大会が4月22日北秋田市役所本庁舎前をスタート・ゴールとするコースで開催されました。当日は、市内外から161人の小学生から一般までが参加し、家族からの熱い声援を受け健脚を競い合いました。